

2024年4月26日

公益財団法人 福岡アジア都市研究所

2023年度 URC 総合研究 報告書
『ウェルビーイング』
～新たな都市の評価に関する研究II～ 発行

ウェルビーイングとは
幸せにとどまらず、身体、
生活、精神、社会における
良好な状態を表す概念

1. 概要

人々の価値観の転換や多様化等を背景に、求められる都市像が変化中、2022年度研究では、主観的評価を重視する「ウェルビーイング」という概念が、新しい都市の評価において重要な役割を果たすと考え、ウェルビーイングの現状や規定因等を把握するためのアンケート調査を実施しました。

2023年度は、アンケート調査の分析結果から、それぞれのウェルビーイング実現に影響する要因や、ウェルビーイングを政策や行政計画に取り入れる意義や手法について明らかにしました。



レポート全文はこちら→

<https://urc.or.jp/report/publications/2023sougou-wb/>

2. メイン・ポイント

- アンケート調査の分析結果から、子どもをもつ女性は、「**仕事を続けながらストレスなく育児ができる環境**」、50～60代は、「**社会とかがわる活動の継続**」につながる施策がウェルビーイング実現に寄与することなどが明らかになった
- 市民の幸せを再定義するウェルビーイングを含む主観的指標を、施策単位ではなく**分野レベルで設定し適切に評価**していくことが、市民のウェルビーイング実現につながる
- 市民のウェルビーイング実現に寄与する政策形成のため、ロジックモデルをベースとした、「**ウェルビーイングの政策的フレームワーク**」(次ページ参照)を提示

□URCのWEBサイトにて、報告書PDFを**無料公開**しています。

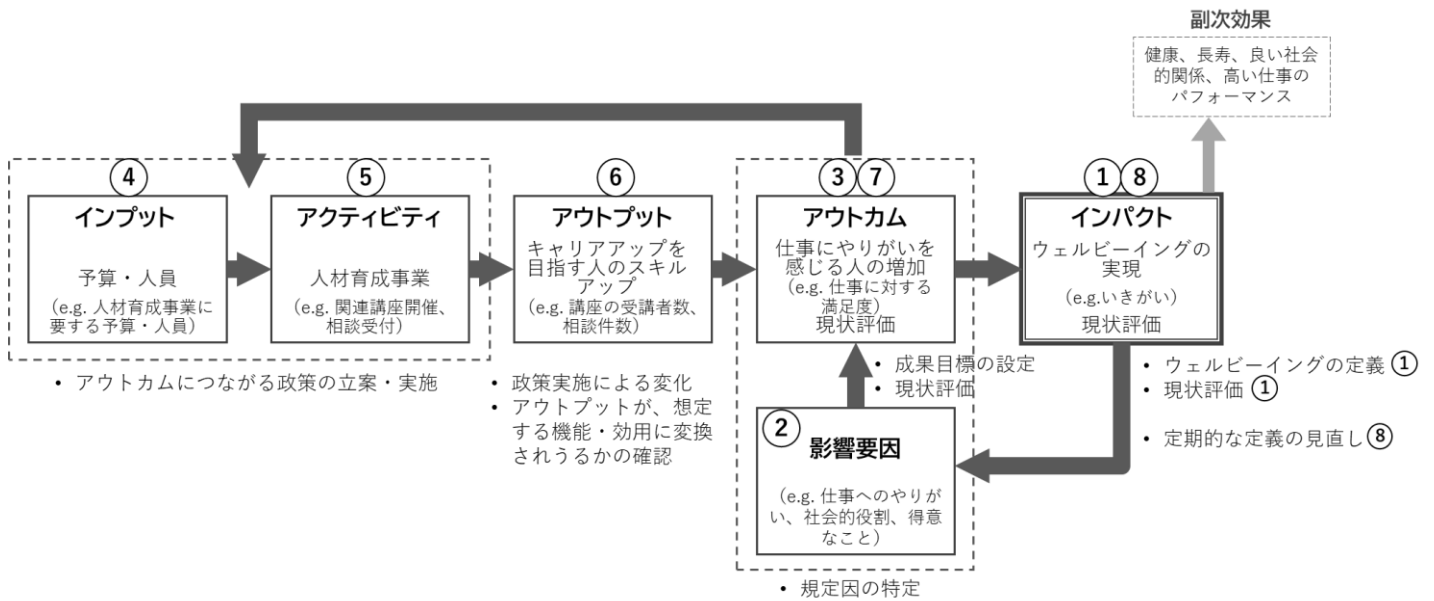
<https://urc.or.jp/>

□「(公財)福岡アジア都市研究所(URC)」と出典を明示すれば、報道や調査研究での引用が可能です。(著作権が第三者に帰属するコンテンツを除く)

公益財団法人福岡アジア都市研究所 担当:山田
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-8-1 博多区役所 10 階
TEL: 092-710-6431 FAX: 092-710-6433 Mail: info@urc.or.jp



ウェルビーイングの政策的フレームワーク



- ① ウェルビーイングの実現を目指すため、定義づけや現状評価を行い、
- ② 影響要因を特定したうえで、
- ③ 最終成果(アウトカム)を設定する。
- ④⑤ 施策を立案・実施し、
- ⑥ 実施による変化(アウトプット)を確認する。
- ⑦ そのアウトプットが想定するアウトカムにつながっているか検証を行い、必要であれば施策の見直しを行う。
- ⑧ また、アウトカムがウェルビーイングの実現につながっているか検証し、個人の価値観の変化等を踏まえたうえで、アウトカムの設定やウェルビーイングの定義についても定期的に見直す必要がある。